9 八王子城址コース

★★★ 上級　行程：約6.4km

高尾駅 →（約17分 北口から西東京バス「大久保行」「陣馬高原下行」（1番乗り場））→ A 大久保バス停 START →（約1.8km）→ B 滝の沢林道分岐 →（約1.0km）→ C 本丸跡への道（8合目） →（約0.4km）→ D 本丸跡 →（約1.0km）→ E 八王子城跡管理棟 →（約0.4km）→ F 御主殿跡 →（約1.8km）→ G 霊園前バス停 GOAL →（約12分 西東京バス「高尾駅行」）→ 高尾駅

下恩方の里から八王子城跡を訪ね、かつての城下の里へ

陣馬高原へのびる陣馬街道が圏央道をくぐった先の大久保バス停。ここにはシダレザクラが見事な浄福寺があり、550mほどバスのルートを戻ると浅川に松竹橋が架かり、山裾に小さな集落が広がっています。ここは八王子城跡がある城山（標高460mの深沢山）の北麓。この山里を抜けて本丸跡に登り、南麓の御主殿跡へ下ります。

八王子城は小田原北条氏最大の支城。北条氏三代目当主、氏康の次男北条氏照によって天正12（1584）年から天正15年頃に築かれたと伝わる山城です。天正18年、豊臣秀吉による小田原城攻めの際に、前田利家、上杉景勝の軍勢の攻撃を受け落城しました。

このコースは、麓の御主殿跡をめぐったあと、途中に畑も広がるかつての城下の里を訪れます。なお、起伏に富んだコースなのでトレッキングシューズの着用をおすすめします。

❶ 浄福寺

大久保バス停の脇にあり、寺と裏山の一帯は中世の城郭といわれる浄福寺城跡である。4月上旬頃に見事なシダレザクラが咲く。

❷ 松竹橋（まつたけ）を渡って集落へ

松竹の集落へは陣馬街道から浅川を渡る。ここは城山の北麓を流れ下る滝沢川沿いに開けた山里。

❸ 庚申塔と六地蔵

橋を渡ってすぐの道を右へ折れる。この道は陣馬街道の旧道で、少し先の公民館前に庚申塔と六地蔵がたたずむ。

❹ 松竹農村公園脇の畑

旧道をたどると畑があり、畑の間の道を左折すると公園が広がる。公園を左に見て台地に上がるとそこでも畑に出会う。

❺ 松嶽稲荷神社

山裾際に建つこの神社は集落の鎮守。松竹はもとは松嶽と書いたのだという。杉の大木に囲まれた境内には舞台もある。

❻ 滝の沢橋手前の畑

谷奥へ進むと滝の沢橋があり、その手前に畑がある。このあたりはもう両側に山が迫る。

❼ 滝の沢林道との分岐

民家が途切れるとこの分岐があり、右に林道と植林地が広がる。城山へは左の道を進みスギ林の中を行く。

❽ 上り坂のスギ林

清龍寺滝への分岐を過ぎると広い植林地があり、そこを抜けるとスギ林となる。この先は尾根に出るまで急な上りが続く。

❾ 本丸跡への道との合流点（8合目）

尾根から少し下って上ると本丸跡への道の8合目に至る。ここは本丸へ続く道の尾根上に築かれた柵門跡でもある。

❿ 高丸（9合目）先の眺望

9合目の高丸を過ぎると間もなく絶佳の眺望が広がる。左下の道筋はかつての城下、右上が現在の八王子市街で、晴れた日には都心まで見渡せる。

⓫ 八王子神社

本丸跡の真下にあるこの神社は、北条氏照が八王子城の築城にあたり八王子権現を祀って城の守護神としたもの。

⓬ 八王子城本丸跡

城の中心であるが平地は狭く天守閣などの大きな建物はなかったとされている。現在は本丸跡の碑と小さな祠が建つ。

⓭ 金子曲輪（くるわ）

曲輪は丸とも呼び、段状の地形や土塁などを築き敵の侵入を防ぐ施設。ここは3月下旬頃にツバキが咲く。

⓮ 金子曲輪下の梅林

曲輪下の南斜面には梅林が広がっている。見頃は2～3月で、それを見下ろせるように脇道がある。

⓯ 御主殿の滝（ごしゅでん）

八王子城跡管理棟に下りたら御主殿跡へ。曳橋跡の先に、落城時に武将や婦女子が滝の上で自刃し身を投げたと伝わるこの滝がある。

⓰ 御主殿跡（こぐち）（虎口）

氏照の館があったとされるところ。館への出入口である虎口が復元され、建物跡も発掘された礎石をもとに床が敷かれている。

⓱ 道路脇の畑

管理棟から高尾街道へ続く道には城下として家臣の屋敷があったといわれる。途中、民家の間に畑も見られる。

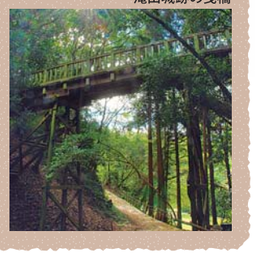
⓲ 畑越しに宗関寺

宗関寺は氏照が再興した寺が前身とされる。このあたり一帯はかつての城下で元八王子と呼ばれ、八王子でも古くから開けたところ。

八王子城と滝山城

Study

八王子城跡の北東、秋川と多摩川の合流点の丘陵に滝山城跡がある。ここも北条氏照の居城だった。滝山城は上杉謙信の猛攻に耐えたが、武田信玄の攻撃では落城寸前まで追い込まれ、そのため氏照はより堅固な八王子城を築き本拠を移したのである。現在、滝山城跡は滝山公園として整備され、復元された曳橋（写真）のほか多くの土塁や空堀跡を見ることができる。


滝山城跡の曳橋